

「テナパノル導入後のリン管理と服用状況の観察研究」

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2025 年 1 月 30 日から 2025 年 11 月 30 日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

テナパノルは、既存の高リン血症治療薬とは異なる新規の作用機序を有しており、腸管上皮細胞のナトリウムイオン／プロトン交換輸送体 3 (NHE3) を阻害し細胞間隙のリン透過性を低下させることにより高リン血症治療を実現する医薬品です。既存の高リン血症治療薬は服用錠数が多いという欠点もあります。

そこでテナパノル導入後の血清 P 値・Ca 値の変動や服用状況（服薬医薬品や 1 日服用回数、1 日服用錠数等）を調査します。

【研究の対象】

小倉記念病院において 2023 年 12 月から 2024 年 11 月の間に、テナパノルが処方されている患者を対象とします。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、診断名、年齢、性別、身長、体重、既往歴、副作用歴、テナパノルの使用状況や血清 P 値・Ca 値などの検査等です。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、当院の研究責任者・富田敏章の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為にを行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としないのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 薬剤部 担当者 富田 敏章

〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号

電話 093-511-2000（代）